



昭和プラスチック 株式会社

<http://shopura.jp/>



会社案内

- 代表者 ● 代表取締役 皆川 悦子
- 所在地 ● 〒277-0861 千葉県柏市高田1116-36
 (TEL) 04-7145-6111 (FAX) 04-7145-6211
 (WEB) <http://shopura.jp/>
- 従業員 ● 10名
- 設立 ● 1966年(昭和41年)1月
- 資本金 ● 1,000万円
- 事業内容 ● 真空成形を専門とするプラスチックトレイ、ブリスターパックの製造加工
- お取引先 ● 株式会社ギンポーパック、株式会社ヤザキ、三和包装株式会社、日亜化学工業株式会社
 株式会社ミクロ発條、株式会社ミカサ ※最終ユーザー様：老舗洋菓子メーカー、某テーマパーク他



営業案内

オーダーメイドのプラスチック製品

- 【対応素材、厚み】 PP(0.2~2mm)、PS(0.2~1.5mm)、PVC(0.2~1.0mm)、A-PET(0.2~1.0mm)他
- 【対応ロット】 試作~量産まで(一貫対応) ※小ロット(100個)15万~対応可能
- 【成形可能サイズ】 1,000mm×1,100mm×180H
- 【機械設備】 連続真空成形機(7.8成形機 メーカー成形機)、油圧式抜型裁断機 5台

製造工程

真空成形の製品はこのように仕上がっていきます。

- ①ロールシートをセット
- ②上下のヒーターで温める
- ③バキュームし成形
- ④余分な部分をカット
- ⑤裁断
- ⑥集積
- ⑦製品チェック
- ⑧エアブロー
- ⑨梱包・発送

加工例

オーダーメイドでオリジナルの形を製作

既製品では間に合わない、違う形状にしたい、素材を変えて用途の幅を広げたいなどご要望が多様化しています。



間口寸法 < 凹み深さ

真空成型の不得意なものの一つにポケットなどの凹みの間口寸法に対し、同じ寸法以上は成形が難しいとされています。その難しさを解決した製品でした。



水漏れしない勘合容器



プラスチックトレイ



■ ご挨拶

朝起きてから寝るまでの間に、プラスチックを使わない日々は無い現代の生活。

各種の容器やトレーは、身近な生活アイテムとしてお役に立っているではありませんか？

既製品ではどうしても間に合わない、ここをもっと違う形状にしたい、素材を変えて用途の幅を広げたいなどご要望が多様化しています。そんなご要望をぜひお気軽にご相談ください。きっと、ご納得のいく形でお応えいたします。

これからも「企業品質」を高め、人を大切に作る心を柱に確かな技術でお客様の夢をかなえるお手伝いをいたします。



代表取締役
皆川 悦子

■ 経営方針

弊社は、『健康』をテーマに経営を進めてまいります。

健康という、食品分野を含めた包括的な取り組みとして製品をプロデュースする事業を発信してまいります。

企業や大学とのコラボレーションにより、企画立案を行い『まもり、引き立て、そして見せる容器』へさらに付加価値のある商品を創造してまいります。



■ お客様の困りごとと解決事例

プラスチックの特性を生かした製品開発

例1 米粉パンの容器

お客様の使用されている容器は紙製で、合わせ目がある為、容器のサイズ、形状がそれぞれ微妙に異なっておりました。こちらの容器にはフィットするが、あちらの容器ではゆるみが出たりと、容器に合わせるのに苦労しましたが、プラスチックの弾力性を利用して解決しました。

例2 箱に合った仕切

箱の中の仕切りは紙製で組立時間と人手が必要でした。さらには、組立後の保管場所も必要とされていました。プラスチック製の仕切りは組立の必要もなくそのまますぐで使用いただけるようになり、重ねて置いておけるので場所の確保が可能となりました。

■ 展示会風景

機械要素技術展など積極的に参加



展示会へは、毎年3～4回ほど出展しております。「とにかく知っていただくこと」に重点を置いており、普段接点のない方々から、具体的な課題を投げかけていただける貴重な機会です。

出展予定の展示会は、弊社ホームページ、Facebookにてご案内しております。